

第5章 応援及び支援

■ 警察

発災直後から市内の西宮、甲子園両警察署は倒壊家屋からの救出などについて、消防局と連携をしながら活動続け、甲子園口北町のビル倒壊現場や仁川百合野町の崖崩れなどの大規模な現場に多数の人員を投入し、救出活動を行った。

■ 自衛隊

発災当日の17日8時20分に近傍派遣により、陸上自衛隊伊丹駐屯地から第1陣の自衛隊員（第36普通科連隊60名）が西宮市に向け出発、9時10分到着救助活動を開始した。17時には増援部隊も到着し、警察と同様に大規模倒壊現場に主力を投入した。

■ 消防機関の応援

震災当日17日の11時3分に三田市消防本部が県内第1陣として、また12時35分県外から第1陣として大阪市消防局が到着、19日までの3日間他都市消防機関から献身的な消火、救出、救急活動等の応援を受けた。

他都市消防機関の被応援状況

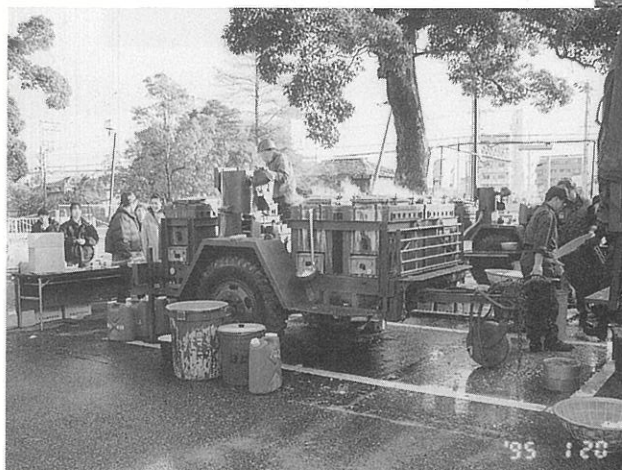
月 日	応援機関	台数	人員	活動内容
1月17日(火)	宝塚市消防本部	4台	9人	(消火・救急・救助)
	三田市消防本部	2台	6人	(救助・物資搬送)
	猪名川町消防本部	2台	7人	(消火・救助)
	大阪市消防局	4台	25人	(救助活動)
	多紀郡消防本部	1台	4人	()
	和歌山市消防局	2台	7人	()
	伊丹市消防局	1台	4人	()
	宝塚市消防団	1台	5人	(消火活動)
小計	7本部 1消防団	17台	67人	
1月18日(水)	尼崎市消防局	1台	4人	(救助活動)
	川西市消防本部	1台	5人	()
	多紀郡消防本部	3台	10人	(救助・物資搬送)
	猪名川町消防本部	4台	13人	(救助活動)
	尼崎市消防団	1台	5人	()
	伊丹市消防団	1台	7人	()
川西市消防団	1台	6人	()	
小計	4本部 3消防団	12台	50人	
1月19日(木)	尼崎市消防局	1台	4人	(救助活動)
	川西市消防本部	1台	4人	()
	三田市消防本部	1台	4人	()
	多紀郡消防本部	1台	3人	(救急搬送)
	氷上郡消防本部	1台	5人	()
	猪名川町消防本部	2台	7人	(救助活動)
	豊中市消防本部	1台	3人	(救急搬送)
小計	7本部	8台	30人	
合計	11本部 4消防団	延べ37台	延べ 147人	

■ ボランティア

発災から1週間後の1月25日から26日の2日間、財団法人・日本防火協会（東京都）が市内小学校などの避難所に近畿圏内（京都、滋賀、大阪など）の婦人防火クラブ員の協力を得て、心暖まる豚汁の炊き出しを受け、避難者から感謝された。

■ 海外からの応援

フランス災害救助特別隊（バルバラン隊長以下61人、救助犬4頭）が21日来日し、甲子園口北町のビル倒壊現場で警察、消防局とともに救助作業を実施した。同隊は22日以降の3日間は神戸市の災害現場で活動し、1月25日帰国の途についた。



自衛隊による給食活動状況（六湛寺町）



婦人防火クラブ員による炊き出し
（安井小学校）



フランス災害救助特別隊（西宮警察署）